

第一次佐久市総合計画後期基本計画「目標」の進行状況(まとめ)

＜色別表示の見方＞
 ■: 目標の推移が「順調」
 ■: 目標の推移が「概ね順調」
 ■: 目標への進行状況が「やや遅れている」
 ■: 目標への進行状況が「遅れている」

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
42	411	福祉のまちづくり	福祉体験教室開催回数	回/年	14 [H22]	16	目安値実績値評価	14	15	15	16	多くの学校等に事業の目的を説明し、協力を得て体験教室を開催できた。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	今後も多くの学校に事業の目的を理解していただき、体験教室を開催することにより福祉の心を育てる教育を推進する。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。	
43	412	高齢者福祉・介護保険	介護予防事業の延べ参加者数	人/年	19,095 [H22]	23,500	目安値実績値評価	19,976	20,857	21,738	22,619	一般高齢者施策である地区サロン立ち上げに向けた積極的な働きかけにより、新規に立ち上げた地区の増加、また既に実施している地区においては開催回数の増加がみられ、健康相談の人数が増加した。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	自立支援に資する機能回復訓練など的高齢者本人へのアプローチに加え、生活環境の調整や地域の中での居場所と出番づくり等高齢者を取り巻く環境へのアプローチを進めていきます。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。	
44	413	障がい者福祉	相談支援事業実施事業所数	事業所	5 [H22]	20	目安値実績値評価	8	11	14	17	福祉サービス事業所に、計画を作成する指定相談支援事業所の開設について働きかけた結果、事業所の増加につながったが、相談支援専門員の資格取得に実務経験年数を要するため、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	障がい(児)者の自立と社会参加のため、相談支援事業所及び相談支援専門員等と連携協力するとともに、引き続き相談支援専門員の資格取得を促進し、相談支援事業実施事業所の増加を目指す。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。	
45	414	母子父子福祉・低所得者福祉	高等技能訓練促進費・自立支援教育訓練給付金受給者数	人/年	4 [H22]	6	目安値実績値評価	4	5	5	6	新たな利用者が無かったため、減少した。計画最終年度においては、前年と比較すると利用者は増えていたが、目標の達成は難しいと見込まれる。	母子家庭等の経済的な自立を支援するため、広報やHPでの諸制度の周知と利用拡大を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。	

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移										結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度							
46			びんころステーション延べ参加者数	人/年	1,715 [H22]	2,000	目 安 値	1,772	1,829	1,886	1,943	野沢山門市で実施しているステーションを栄養士会に委託したことや、地域集団検診の結果報告会での栄養指導として行っていたものが内容変更により実施されなくなったことにより、目安値には達していない。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	保健指導員とタイアップした講座など実施箇所の拡大を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。			
47	421	健康増進	3歳児のむし歯保有率	%	26.71 [H22]	20.00	目 安 値	25	24	23	21	むし歯判定の基準について、長野県の通知により、平成25年度から「サホライド塗布歯」の扱いを、サホライド塗布の有無ではなく、脱灰の有無により判定をすることとなったため、むし歯保有率が高くなり、目安値を下回っている。経年の変化を見ると、子どもの歯の教室等の実施により、改善傾向にあるが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	「2歳児歯っぴー教室」等、様々な機会を有効に活用し、むし歯保有率の減少を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。			
48	422	保健活動	メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合	%	25.2 [H22]	15.2	目 安 値	23	21	19	17	特定健診・特定保健指導の実績集計は毎年、次年度の10月末に国保連の統計データから抽出されるため、現時点では算出されていない。ここ数年の傾向では、割合は大きく変化しておらず、メタボリックシンドロームの方への特定保健指導対象者も横ばいである。数値変化がない要因として、健診者の増加により、対象者も増えていること、個別健診や人間ドックなど、医療機関での受診者への事後指導や特定保健指導実施が難しく、低くなっていることが考えられ、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	「新しい保健」で提言されている早期発見・重症化予防を推進するために、健診受診後のフォローを行う。また、喫煙・食生活・運動などの生活習慣を改善する一次予防活動や特定保健指導を中心に、保健指導の充実に努めます。医療機関との連携を図り、指導スタッフの力量形成も行っていく。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。特に対象者が自覚を持てるよう工夫をして欲しい。			
							実 績 値	26.6	25.4	25.1	集計中							
							評 価	遅れている	遅れている	遅れている	実績値なし							

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
49	423	医療	浅間総合病院第二次整備事業進捗率	%	0 [H22]	100	目安値	20	40	60	80	1期工事・2期工事に分けて建物を建設し、壁紙等の変色を防止するために、内装工事は1期・2期合せて最後に実施する予定のため進捗率は55%になっているが、予定どおり平成29年1月にはしゅん工、3月から運用開始の予定であり、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	病院建設については、引き続き各工事が工期内に終わるよう監督・検査を行っていく。また、院内の引越しや開院式についても関係各科(課)と連携を図り準備を進める。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。	
							実績値	4.6	7.0	18.0	55.0					
							評価	やや遅れている	遅れている	遅れている	やや遅れている					
50	424	医療保険・国民年金	国民健康保険税収納率(現年課税分)	%	90.26 [H22]	100	目安値	92	94	96	98	督促・催告状の発送・臨戸訪問・全職員での滞納整理、未申告者への申告勧奨を継続的に行うことにより収納率は改善がみられるが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	専任徴収員や全職員での滞納整理・臨戸訪問を行い滞納者との早期折衝を図り、併せて滞納処分を強化する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。	
							実績値	91.78	93.48	93.48	93.57					
							評価	概ね順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている					
51	431	母子保健	こんにちは赤ちゃん事業における新生児訪問率	%	96 [H22]	100	目安値	97	98	98	99	こんにちは赤ちゃん事業について、出生届出時等で周知し、高い訪問率を維持できている。訪問拒否・不要の場合もあるが、電話で様子を聞き、健診で確認をしている。連絡がつかない場合は、他部署と連携し安否確認をした上で健診で児の健康状態等を確認している。転出予定がある等、個々の事情により訪問できない場合があり、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	生後4ヶ月以内に訪問できるよう、実施をさらに強化していく。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。	
							実績値	97.80	98.00	98.00	98.00					
							評価	順調	順調	順調	やや遅れている					

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
52	432	子育て支援・児童福祉	子育てサロンの延べ利用者数	人/年	7,908 [H22]	8,300	目安値実績値	7986	8,065	8,143	8,222	少子化の影響や、3歳児未満の保育需要の高まりなどにより、利用者が減少している。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	育児不安の軽減を図るため、利用者アンケートの結果や要望を検討し、事業内容を工夫する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。	
評価			順調	順調	順調	遅れている										
目安値実績値			8,753	8,857	8,261	8,029										
53	432	子育て支援・児童福祉	つどいの広場の延べ利用者数	人/年	15,099 [H22]	15,800	目安値実績値	15,239	15,379	15,520	15,660	参加者から要望の多い講座を実施することにより、参加者が増加した。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	H28年度から開催場所を増やして実施しており、実施内容も利用者からの意見やアンケートを参考に内容を工夫し、今まで以上に身近な場所で気軽に利用できる事業として実施する。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。	
評価			遅れている	遅れている	やや遅れている	順調										
目安値実績値			14,370	14,206	15,264	16,986										
54			児童館の延べ利用者数	人/年	303,975 [H22]	319,000	目安値	306,980	309,985	312,990	315,995	新小学校の開校に合わせ、児童館が一ヶ所増えた事と、児童館行事に子どもたちが企画や運営に参加することにより親しみやすい児童館運営を行った結果、児童館数が減少する中、利用者は増加した。しかしながら、目標値に対しては大きく遅れており、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	今後も児童に行事の企画に参加してもらうなど、児童が継続的に楽しく来館できるような工夫を図るとともに、地域ボランティアとの連携や、各種研修への参加等による児童館職員の質の向上を図り、保護者が安心して子どもを児童館に通わせられる環境に努める。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。また、利用者数の増加だけでなく質の向上にも取り組んで欲しい。	
実績値			280,265	273,510	277,110	288,516										
評価			遅れている	遅れている	遅れている	遅れている										

第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
55	511	環境保全	市内家庭の総消費電力	MWh/年	239,143 [H22]	191,315	目安値	229,577	220,012	210,446	200,881	省エネやクールシェア・ウォームシェア等の啓発により、市民生活においても省エネ行動は意識され、総消費電力量は着実に減少しているが、日常において一定のエネルギー量は必要であり、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	佐久市地球温暖化対策実行計画の地域編となる省エネルギー行動計画を策定し、具体的な目標を定める中で、家庭でできる取り組みや学校教育における環境学習メニューの充実を図り、温室効果ガスの排出削減に向けた省エネルギー行動を促進する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。	
				実績値	234,346	232,069	227,254	219,159								
				評価	概ね順調	やや遅れている	やや遅れている	遅れている								
56	512	街並み緑化・公園・景観形成	平尾山公園の入場者数	人/年	411,947 [H22]	420,000	目安値	413,558	415,168	416,779	418,389	H27は平根発電所改修による施設の閉鎖、酷暑や暖冬の影響により利用者が大幅に減少した。計画期間を通して減少傾向であり、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	H27年度中に長寿命化計画に基づくアスレチック遊具の更新を行い、平成28年12月にセンターハウスの改修、隣接地に温水利用型健康運動施設がオープンする。相互施設の連携を図り指定管理者と協議し利用者の増加に繋げていく。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。	
						実績値	386,238	348,927	332,810	238,105						
				評価	遅れている	遅れている	遅れている	遅れている								
57	512	都市公園の整備面積	m ² /人	7.94 [H22]	9.82	目安値	8.32	8.69	9.07	9.44	佐久総合運動公園の整備を進めているが、公園の整備面積の増加はなく、実績値は昨年と同様であった。計画最終年度においても佐久総合運動公園整備を進めるが、新たな公園面積の増加は見込めず、目標の達成は難しいと見込まれる。	佐久総合運動公園に計画されている野球場とクロスカントリーコースの整備を進めるとともに、一本柳地区の街区公園の整備を推進する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。		
							実績値	8.11	8.49	8.76					8.76	
							評価	順調	概ね順調	やや遅れている					遅れている	
58	521	環境衛生	家庭系ごみの排出量	t/年	21,384 [H21]	19,591	目安値	21,025	20,667	20,308	19,950	生ごみの堆肥化、雑がみの資源化の周知徹底により可燃ごみが減少している。(前年度に比べ141 t 減少) 実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	市民に対し、生ごみの堆肥化、雑紙の資源化による可燃ごみの減量化とごみ分別の徹底について、広報やホームページ等を活用し啓発する。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。	
						実績値	20,297	19,621	19,487	19,468						
				評価	順調	順調	順調	順調								
59	521	環境衛生	事業系ごみの排出量	t/年	5,296 [H21]	4,670	目安値	5,171	5,046	4,920	4,795	可燃ごみは、前年度に比べ80 t 減少(△1.4%)しているが、依然資源化可能な紙類が可燃ごみに多く含まれている等、目標達成には大きく遅れている。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	事業系ごみ袋販売の際に市役所窓口で分別徹底の指導や、焼却施設への搬入ごみ検査、前年度比排出量増加事業所への訪問指導するなど、ごみの減量と資源化の啓発を強化する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。	
								実績値	5,754	5,705	5,725					5,640
								評価	遅れている	遅れている	遅れている					遅れている

第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
60			上水道有収率	%	84.0 [H22]	90.0	目安値	85	86	88	89	老朽化した施設等による漏水の調査等の有収率向上対策を促進している効果により改善が見られるが、目標達成には大きく遅れている。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	水資源を有効に活用するため、漏水防止の施策に継続して取り組み、漏水量の低減を図るとともに有収率の向上に努める。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。	
						実績値	84.2	83.7	83.8	84.4						
						評価	やや遅れている	遅れている	遅れている	遅れている						
61	522	上水道	水源余裕率	%	16.2 [H22]	22.0	目安値	17	19	20	21	水源余裕率が増えた要因は、節水意識の向上や人口減少と思われる。年間使用量の減少に伴い、1日最大配水量が減少し、確保している水源水量の余裕ができた。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	将来に向け安定した水の供給を維持していくため、適正な水源水量の確保に努める。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。	
						実績値	16.9	16.4	20.3	22.8						
						評価	概ね順調	遅れている	順調	順調						
62			下水道整備面積	ha	2,931 [H22]	3,032	目安値	2,951	2,971	2,992	3,012	平成27年度は西屋敷地区、荒宿地区などの整備を行い面積は増加しているが、現在農集、コミブラ地区と公共下水道の統廃合事業を優先しており、下水道整備面積は目標値を下回っている。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	財政面も含めて未整備地区の優先順位を考慮し、整備促進を図っていく。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。	
						実績値	2,946.3	2,952.8	2,955.9	2,958.0						
						評価	概ね順調	やや遅れている	やや遅れている	遅れている						
63	523	下水道	水洗化率	%	86.9 [H22]	90.9	目安値	88	89	89	90	未接続区域への整備が進み、宅内工事をする世帯が増加したため、水洗化率は順調に伸びている。既に目標値の達成が図られている。	公共下水道区域の未接続世帯を対象に戸別訪問を実施し、水洗化の促進を図る。	達成	今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。	
						実績値	89.5	90.6	91.5	92.6						
						評価	順調	順調	順調	順調						
64			下水道使用料収納率(現年分)	%	96.8 [H22]	100	目安値	97	98	99	99	現年度分収納率は年々伸びているものの、一部の未納者が固定しているため、決定的な収納率向上に繋がっていない。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	引き続き収納率向上を図るため、民間の技術や経験の活用を図るとともに、上水道関係機関との連携強化を図ります。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。	
						実績値	97.11	97.09	97.17	97.25						
						評価	順調	やや遅れている	やや遅れている	遅れている						